

## 若者プロジェクト



甲賀駅の利用促進、忍者の町アピール、地域の活性化とふれあい、若者が住みたいと思うまちづくりを目指して「甲賀駅マルシェ」が9月から開催されています。出店

者は4か月で延べ79店、来場者も市内はもちろん、県内外からも多く、延べ1650人にも及び、好調なスタートとなりました。

1・2月を除く毎月第2日曜日に開催しますので、皆さんもぜひお出掛けください。またイベントや出店等のお問合せは事務局までご相談ください。



12月開催の「マルシェ de クリスマス」の様子

## 見守りプロジェクト

11月11日



19名が参加し、「多羅尾見守り安心の輪の取組みについて」一人暮らしの高齢者・認

知症の支援・災害時の支援等についての取組みや活動を研修しました。意見交換の後、多羅尾のシンボルである代官屋敷跡を見学しました。

12月3日



17名が参加し、甲南やまなみ工房・水口老人ホームはとがびら・医療センター水口病院の3か所を訪問し、障がいを持った方や、高齢者・認知症等のケアの仕組み、施設内の充実した設備を見学しました。やまなみ工房では、個性溢れる見事な作品に感心させられました。水口病院は「病める人にやすらぎと生きる力を」の理念を掲げ、高い医療を目指しておられました。

## まちづくりプロジェクト

### 大原地域まちづくりに関するアンケート説明会

12月18日、34名が参加し、かふか生涯学習館で調査報告会が開催されました。8月に配布されたアンケート調査には593名からの回答があり、集計結果の内容が説明されました。

その後、各グループに分かれて意見・感想をまとめたのち、グループ毎に発表しました。各自治区がまちづくりを進める上での参考になる説明会となりました。



## 編集後記

新たな一年、新成人を迎えられた皆さん、希望に満ち、未来に輝ける大人に成長されること望みます。広報委員も一丸となって編集に努めますので、皆様のご協力をお願いします。



ホームページ  
QRコード



# おおはら

<http://oohara.ikoka.jp>

発行日  
平成29年2月  
発行  
大原自治振興会  
甲賀市甲賀町相模 173-4  
TEL&FAX.88-3111



大原学区の新成人(1月8日かふか生涯学習館にて)

## 成人式に思うこと

中島このみ



私が一番に振袖姿を見せたかった人は、一昨年亡くなった祖父です。

私の両親は共働きで帰りが遅く、よく祖父が洗濯物をたたんでくれていました。我が家の食卓に毎日美味しい野菜が並んでいたのは、祖父が朝から晩まで畑仕事をしていてくれたからでした。

祖父はいつも私の送り迎えをしていてくれました。私が免許を取り、今度は祖父を車に乗せてやろう、というところで祖父は亡くなりました。

成人式で、私は市の実行委員長を務めました。実行委員のメンバーは、初対面の人が多く、初めは戸惑いましたが、成人式を迎える頃には笑い合い、頼れる仲間になっていました。

成人したとはいえ、自分ではあまり変わったようには思えません。20歳になったら自然に大人になるというものでもないようです。無理せず、自分らしく、少しずつ大人に近づいていきたいと思っています。

この先、結婚して子や孫ができ、楽しい人生やっただといつか祖父に自慢できるよう、精一杯生きていきます。

中川 哲太



成人式を迎え世に成人と認められました。成人ということは二十歳ということでもあります。今までの自分の人生

二十年間を思い浮かべると非常に長く感じます。現在の日本の平均寿命は八十歳を超えていますので人生の四分の一しかまだ生きていないということになります。しかしこの二十年間を無事に過ごすことができたのも家族や友達、地域の方々などの支援と良い環境があったからだと思います。

成人になったことでこれから支えられる側から支える側として地域で活躍できればいいなと思っています。私たちの世代は学生だけではなく社会人として生活している人もいます。また実家を離れ、下宿をしている者もいます。立場や住んでいる場所が違えどもあらゆる形で地域に貢献していきたいです。

そしてこれから立派な大人として生きていくためにはいろいろな選択肢を迫られることがあると思います。そんな時には後悔しない道を選ぶのではなく、選んだ道を後悔しないように生きていける大人になっていきたいです。

